

ワーキング等の経過について

		内 容	主な意見等
1	ワーキング (バス事業者・県・市)	ワーキングの進め方 ・戦略WGとバスWGのメンバーなど 施策について ・第1回委員会資料の施策内容の追加・修正	・戦略とバスシステムでメンバーはほぼ同じと考えられるので合同のワーキングとし、必要に応じてメンバーを加える。 ・今後、それぞれの施策は戦略かバス検討かどちらで議論を進めて行くのか。(再度意見交換を行い整理する)
2	バス事業者との意見交換	施策内容の振り分けについて ・WGの検討結果の取扱(戦略・バス)	・振り分けについて事業者ごとに意見を聴取
3	バス事業者との意見交換	施策内容の振り分け ・意見交換に基づいた施策の振り分けについて事業者を確認 ・そのほかの利便化策など	・利便化を進めることによって東西軸を作らない結論もありえるのではないかと。 ・目標に向かうための議論が必要なことはわかるが、今できることをまず検討して行きたい。
4	バス事業者との意見交換	具体的な事例について ・施策ごとの事業者が想定する具体的な事例について	・現在のバスの高度化の施策を中心に、具体的な事例について意見を聴取
5	ワーキング (バス事業者・県・市)	具体的な事例について ・意見交換に基づいた具体的施策について事業者を確認 ネットワークについて ・現状課題とネットワークについて、意見を伺う	・短中期的な利便化施策は、戦略の中で実施していく ・IC化などの手法について検討したい ・行政の支援について法人賦課税の減免なども考えてほしい ・ネットワークをどのように決めるのかイメージできない ・ネットワーク検討の資料として、今後、公共交通の課題を定量的に示して行きたい
6	ワーキング (バス事業者・県・市)	・東西交通軸について 各事業者に関東バスの素案を説明	・東側の柳田街道は新しい路線のため、運行頻度などを設定するためには需要などを調査する必要がある。 ・連節バスを検討するため、他都市の事例を調査してはどうか。